# 1節 放送番組の編成

## 国内放送番組編集の基本計画

「平成28年度（2016年度）国内放送番組編集の基本計画」は，放送総局内で議論を重ねたうえ，編成局で原案を作成した。この原案を理事会で決定し，12月，中央番組審議会に諮問，答申を得たうえ経営委員会で決定した。

以下はその原文である。年表示は西暦にし，記号などは本書の方式に合わせた。

### Ⅰ．編集の基本方針

16年度は，メディア環境が激変する中，世界から注目される2020年を見据えて「挑戦」と「改革」をさらに進めていきます。

国内外に難問が山積，国際化や社会のつながりの希薄化が進む今，人々の判断のよりどころとなる，正確な報道と豊かで多彩なコンテンツを充実し，全国のネットワークを生かして積極的に日本を世界へ発信，「情報の社会的基盤」の役割を果たしていきます。

まず国内放送番組の編集にあたっては，事実に基づき，公平・公正，何人からも干渉されない放送の自主自律と不偏不党を貫き，公共の福祉や社会の健全な発展，人々の命と暮らしを守る，公共放送の「原点」を堅持します。そして日本と世界の課題を読み解き，新しい手法も駆使した深い取材に基づくニュース・報道番組，幅広い世代の期待に応える創造的な文化・教養・娯楽番組など，質の高い放送を実現します。メディアが多様化していく中で，テレビならではの魅力を発信，幅広い世代の視聴者の心をつかむコンテンツを充実させます。

また，日本では深刻な自然災害が相次ぐようになっています。全国の放送局は地域に密着，防災や減災につながる情報発信と体制作りに努めます。引き続き，東日本大震災の被災地を支援する番組にも取り組みます。

さらに，スーパーハイビジョン試験放送が始まり，改正放送法も２年目に入ります。最先端の高精細映像による番組制作や，インターネットを活用した新たなサービスをより一層，強化します。

そしてリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックが開かれる16年は，2020年東京大会へ向けて本格的なスタートです。リオデジャネイロ大会では，今までにない魅力あるオリンピック・パラリンピックの放送の技術開発と番組制作に挑み，東京大会で目指す世界最高水準の放送・サービスにつなげます。

16年度，NHKは「より身近で，信頼できるメディア」への発展と将来の「公共メディア」への進化を見据え，挑戦と改革を加速します。

### Ⅱ．編集の重点事項

#### １．「命と暮らしを守る」報道に全力を挙げ，東日本大震災からの復興を積極的に支援

繰り返す豪雨，相次ぐ噴火や地震。自然災害が激化，突発化，多発化の傾向を強める日本で，防災・減災報道は公共放送の使命として年々重みを増しています。噴火警報，特別警報などに的確に対応し，より正確で迅速な報道体制を強化します。また，首都直下地震，南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備え，機動的で強靭な緊急報道・制作体制を強化，いかなる場合も途切れることのない放送を維持します。そして，東日本大震災被災地の現状と課題，原発事故後の対策を伝え，復興を手助けします。

#### ２．日本や世界の課題に向き合い，人々から信頼される報道・番組を充実

少子高齢化，社会保障，いじめ，多様な生き方，紛争，安全保障など，日本や世界が直面するあらゆる課題に対し，公平・公正な報道姿勢を堅持，事実に基づく正確で迅速なニュース・骨太な番組を積極的に発信します。信頼される放送で，人々の判断のよりどころとなる，正しい情報を提供する役割を果たしていきます。

また，複雑で難解な問題や現象であっても，ビッグデータの多角的分析など新手法を駆使して，わかりやすく丁寧に伝え，多様な視聴者の関心に応えます。

#### ３．視聴者の幅広い期待に応えて，見応えある魅力的なコンテンツを開発・制作

NHKが持つ７つの放送波を活用し，幅広い世代の多様な関心に応えます。

総合テレビジョンでは，日本と世界の課題に向き合い，社会が進むべき方向を探るわかりやすく

信頼されるニュースや番組を強化します。そして，文化・教養・娯楽などの分野で魅力あふれる多彩な番組をバランスよく編成し，幅広い世代から支持されるチャンネルを目指します。教育テレビジョンでは，子どもからお年寄りまでのさまざまな「知りたい」「学びたい」に，趣味・生活・教養・語学など彩り豊かな番組で応え，教育，福祉などの重要課題について発信し続けます。BS1はライブ感あふれる情報チャンネルとして，「国際・経済情報」「スポーツ」「ドキュメンタリー」の三本柱に「2020年東京」を加え，多様な番組を戦略的に展開します。BSプレミアムは「文句なしに見たい」高品質で個性的なコンテンツを戦略的に編成，本物志向の知的エンターテインメントチャンネルの存在感を高めます。音声放送は，インターネットとの連携を進めながら，「安全・安心ラジオ」として機能を強めるとともに，多彩な番組を展開します。

### ４．地域の「安全・安心の拠点」となり，地域活性化に積極的に貢献

NHKの全国の放送局は，防災・減災報道，緊急報道に全力を挙げるとともに，地域の情報を全国，そして世界へ積極的に発信していきます。自然や文化，人と暮らし，経済，観光資源など，その土地ならではの魅力や，地域の課題を全国に伝える情報番組やドラマ，公開番組を強化し，地域の活性化に貢献します。

さらに，地域に密着した地域のための情報提供を充実，暮らしや安全，地域の振興に役立つ番組やイベントなどを通じて，信頼される身近な放送局としての存在感を高めていきます。

### ５．2020年東京オリンピック・パラリンピックへ，本格スタート

リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでは質・量ともに，高い次元の放送を実現します。大会の盛り上がりをビビッドに伝えるライブ感あふれる放送や，最新のデータ分析技術を駆使し競技や選手の魅力をより深く描く番組などを充実させます。特にパラリンピックの放送を大幅に拡充，その魅力を伝えます。

さらに2020年に向けて，より魅力的なスポーツ中継，番組の開発を進め，東京オリンピック・パラリンピックで世界最高水準の放送とサービスの提供を目指します。

また，広がる国際交流やボランティア活動，来日外国人とのコミュニケーションに役立つ多様な番組も展開します。各種スポーツイベントの中継を拡充するとともに，長期的な展望に立って障害者スポーツを含めたスポーツのすそ野を広げ，視聴者のさまざまな興味と関心に応えます。

### ６．新たな可能性を開く放送・サービスを創造

２年目に入る改正放送法を踏まえ，放送番組とインターネットコンテンツが両輪となる新たなサービスを一層，強化します。

防災・減災報道では，より早くより多くの人にきめ細かく情報を届けるため，新たな技術・サービスを開発します。放送とインターネットの連携の可能性についても，さまざまな挑戦を行い検証します。また，普及が進むスマートフォンへの対応も進め，「NHKオンライン」（NHKホームページ）の改善など，より利用しやすいサービスを展開，「NHKオンデマンド」（有料動画サービス）との連携も深めます。

そしてスタートするスーパーハイビジョン（８K･４K）試験放送では，スポーツや芸術，ドラマに加え，ドキュメンタリーなど，多彩なコンテンツを届けます。スーパーハイビジョン時代を見据え，NHKならではの高精細の多彩で魅力あるコンテンツを充実します。

### ７．日本を世界に，発信を強化

質の高い大型コンテンツの国際共同制作など，さまざまな形での国際展開を進め，日本の文化，産業，科学技術など，その魅力や姿を積極的に発信，国際社会の日本への理解を促進します。

また，国内放送と国際放送との連携を強化し，両方で放送する番組を制作するなど，日本の「いま」と「魅力」を伝えるコンテンツを質・量ともに拡充させます。

### ８．“人にやさしい”放送・サービスの拡充

「いじめ」，「自殺」，社会に生きづらさを感じる人々が増えています。そうした人々に寄り添い，社会との絆になる放送を続けます。

そして，字幕放送・解説放送・手話など，「人にやさしい」放送･サービスの充実にも努めます。字幕放送と解説放送は，長期計画に基づき拡充，特に，ニュースなどの生字幕放送については，地域放送も含めて積極的に取り組みます。

以上の重点項目の実施にあたっては，以下のような施策も勘案しながら，創造的で活力に満ちた取材・制作体制を構築します。

○「国内放送番組編集の基本計画」が放送サービスとして実現されているか，録画視聴やインターネット利用も含めたNHKへのトータルな接触を把握する指標の整備を進め，より適切な評価・管理体制を作ります。
○スーパーハイビジョンの試験放送で通常番組（２K）との一体制作を拡大するなど，限られた経営資源を効果的・効率的に活用し，ニュースや番組を充実させます。
○人材育成で，事実に基づき正確に伝える放送倫理の原点を徹底。コンプライアンス意識を組織全体で共有し，確かで正しい情報と質の高い番組の提供に努めます。

# Ⅲ．各波の編集方針

## １．総合テレビジョン

人々の「命と暮らしを守る」正確で迅速な報道に努めるとともに，日本と世界の課題に向き合い，社会が進むべき方向を探る基盤となるニュース・番組を充実します。また，文化，教養，娯楽番組などをバランスよく編成し，幅広い世代に支持されるチャンネルを目指します。さらに，世界水準の高品質な番組を制作するとともに国際放送との連携を進め，NHK全体の魅力を高めます。

〈編集のポイント〉
１．世の中の動きを迅速にわかりやすく伝えるニュースと魅力あふれる多彩な番組を編成
２．社会の中核層が明日への活力を生み出す新しいスタイルのニュース番組を編成
３．リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックとその先の「2020年東京」に向けたスポーツ番組の開発
４．国際放送と連携し，日本の魅力を世界に発信する番組を制作
５．地域の課題と向き合う番組を充実し，地域の魅力を全国に発信

〔放送時間〕
○１日24時間を基本とします。

〔放送番組の部門別編成比率〕
○定時番組について，教養番組20%以上，教育番組10%以上，報道番組35%以上，娯楽番組20%以上を編成します。

## ２．教育テレビジョン（Eテレ）

幅広い世代の「知りたい」「学びたい」に多彩な番組で応えるとともに，教育・福祉などの重要課題を継続して発信します。幼児・子ども番組や趣味，実用番組をより魅力的な内容にブラッシュアップするほか，「2020年東京」に向けてEテレならではの国際交流などに役立つ情報も提供していきます。

〈編集のポイント〉
１．教育，福祉，防災などの課題への総合的取り組み
２．時間帯ごとにターゲットを明確にした編成
３．趣味・生活・教養・語学など，幅広い世代の「知りたい」「学びたい」に応える多彩な編成
４．インターネットとの連携をさらに深め，新しい番組やサービスを開発

〔放送時間〕
○１日20時間を基本とします。

〔放送番組の部門別編成比率〕
○定時番組について，教養番組15%以上，教育番組75%以上，報道番組若干を編成します。

## ３．BS1

「ライブ感あふれる情報チャンネル」として，「国際・経済情報」「スポーツ」「ドキュメンタリー」の三本柱を中心に，世界と日本の今をこれまで以上にタイムリーに伝えます。「2020年東京」を新たな柱に加え，オリンピック・パラリンピックに向けた幅広い番組を戦略的に展開し，新しい視聴者の獲得につなげます。

〈編集のポイント〉
１．リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック，そして，2020年の東京につながる番組を戦略的に展開
２．新技術を活用したスポーツ中継など，“新時代のスポーツ体験”の実現
３．スポーツを通して幅広いメッセージを伝える，多彩な番組を編成
４．国際・経済情報のさらなる充実と，グローバルな視点で世界の課題と向き合う大型番組の開発
５．タイムリーで質の高いドキュメンタリー番組を制作，国際共同制作にも積極的に取り組む

〔放送時間〕
○１日24時間を基本とします。

〔放送番組の部門別編成比率〕
○定時番組について，教養番組20%以上，教育番組10%以上を編成します。

## ４．BSプレミアム

「本物志向の知的エンターテインメントチャン

ネルを，もっと身近に」
地上波に飽き足りない視聴者が「文句なしに見たい」と話題にする番組や，「肩は凝らないけど深い」番組など，高品質かつ個性的なコンテンツをさらに強化。戦略的な編成で，より多くの視聴者の獲得を目指します。
〈編集のポイント〉
1．BSプレミアムのフラッグシップとして，大型エンターテインメントや，長期取材に基づくこれまでにないスケールの番組など，多彩な視聴者の関心を呼ぶ番組を編成。
2．他波にはない個性と魅力を持つ，新ジャンル・新フォーマットの番組を開発。
3．「日本再発見」をコンセプトとした，地域の魅力や価値を発信し，地域を応援する番組の強化。
〔放送時間〕
○１日24時間を基本とします。
〔放送番組の部門別編成比率〕
○特に定めない。

### ５．ラジオ第１放送

音声基幹波として「安全・安心ラジオ」の機能強化に引き続き取り組み，地域の暮らしや安全に役立つ生活情報番組などを充実・強化します。それぞれの番組のターゲットをより明確にして内容を深化させるとともに，双方向性など，ラジオならではの強みとインターネットとの連携を生かした番組や演出で接触者率向上を目指します。
〔放送時間〕
○１日24時間を基本とします。
〔放送番組の部門別編成比率〕
○定時番組について，教養・教育番組あわせて25%以上，報道番組35%以上，娯楽番組20%以上を編成します。

### ６．ラジオ第２放送

生涯学習波として，多様な知的欲求に応える番組を編成するとともに，インターネットとの連携で「いつでも」「どこでも」学べる機会を提供します。
〔放送時間〕
○１日19時間を基本とします。
〔放送番組の部門別編成比率〕
○定時番組について，教養番組15%以上，教育番組65%以上，報道番組10%以上を編成します。

### ７．FM放送

総合音楽波として，さまざまなジャンルの音楽番組を引き続き編成します。各番組のブラッシュアップと定着を進めるとともに，新規リスナー獲得につながる番組の編成も行います。災害など緊急時には，ラジオ第１放送と連携して機動的な編成を行い，地域情報波としてきめ細かなライフライン情報を提供します。
〔放送時間〕
○１日24時間を基本とします。
〔放送番組の部門別編成比率〕
○定時番組について，教養・教育番組あわせて40%以上，報道番組10%以上，娯楽番組25%以上を編成します。

## 放送番組の改定

## Ⅰ．４月の番組改定

### １．総合テレビジョン

**（１）世の中の動きを迅速にわかりやすく伝えるニュースと魅力あふれる多彩な番組を編成**

平日夜間の番組配置を見直し，より視聴者のニーズにそった編成の実現を目指した。午後７時の『NHKニュース７』は，正確な情報を迅速に伝えるとともに，事件・事故の発生現場から迫力ある映像や情報を果敢に取り込むなど，一日のニュースを立体的に伝えた。演歌から最新のポップスまで，世代を超えて共に楽しめる『うたコン』を新設するとともに，『鶴瓶の家族に乾杯』は73分に拡大し，『ガッテン！』はユニークな科学実験や調査を盛り込んで刷新した。また，午後10時～11時台に放送し好評を博してきた『ファミリーヒストリー』『歴史秘話ヒストリア』『サラメシ』『探検バクモン』『所さん！大変ですよ』を午後７～８時台に移設し，若い世代の視聴者にも「この番組は見たい」と週に一度はチャンネルを合わせたくなる多彩な番組を配置した。

土曜の午後６時台には『土曜時代劇』，午後10時台にはクイズや演奏を通して音楽の楽しさを体感する『バナナ♪ゼロミュージック』を新設し，幅広い世代のニーズに応え，週末の夜を明るく彩った。『土曜時代劇』では「一路」等を放送した。

**（２）社会の中核層が明日への活力を生み出す新しいスタイルのニュース番組を新設**

平日午後10時台には，社会の中核層の関心に応

える『クローズアップ現代＋』を配置し，ニュースで取り上げられた事件や話題になったトピックスを深掘りし，分かりやすく伝えた。

午後11時台には，スポーツも含め，その日のニュース・最新情報をコンパクトに伝える『ニュースチェック11』を新設し，データジャーナリズムの要素を盛り込むなど，新たな視点を加え，明日への活力を生み出す情報を提供した。

**（３）リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックとその先の“2020年東京”に向けたスポーツ番組の開発**

リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでの活躍が期待されるアスリートたちの魅力に迫るとともに，東京オリンピック・パラリンピックを目指す有力選手を発掘し，応援する新しいスタイルのスポーツ・エンターテインメント番組『グッと！スポーツ』を新設した。

**（４）国際放送と連携し，日本の魅力を世界に発信する番組を制作**

特集番組を中心に国際放送と連携し，日本の魅力を世界に発信する番組を強化した。『NHKスペシャル』からは，「若冲　天才絵師の謎に迫る」，古代史ミステリー「“御柱”～最後の“縄文王国”の謎～」等を海外発信した。

**（５）地域の課題と向き合う番組を充実し，地域の魅力を全国に発信**

地方局で制作した番組に，解説など付加情報を加えてビビッドに伝える生放送番組『スタジオパークからこんにちは　第２部』を新設し，全国に向けた地域情報の発信力を高めた。

## ２．教育テレビジョン（Eテレ）

**（１）平日朝，親子で見たくなる，共通の話題となる番組の編成**

Eテレで一番見られている時間帯のひとつ，平日朝の魅力をさらに高めた。登校前の子どもたちの“やる気スイッチ”が入る情報をデータ放送で紹介したほか，歌って踊って親子で楽しめる新しい音楽パペットショー『コレナンデ商会』を新設した。さらに週末の朝には，平日夕方の人気番組『Let's 天才てれびくん』のキャラクターが活躍する『どちゃもん　あさめしまえ』を新設した。

**（２）ティーンズの多様な関心に応える番組を編成**

夕方から夜間にかけて，ローティーン，ミドルティーンのさまざまな関心に応える番組を編成した。月曜には『テストの花道』で蓄積した勉強法のノウハウをユニークな動画にまとめて紹介する『テストの花道　ニューベンゼミ』を新設したほか，水曜には海外ドラマの新シリーズ『ティーン・スパイ　K. C.』を編成した。人気のアニメについては，金曜に『山賊の娘ローニャ』，土曜に『スポンジ・ボブ』を新設したほか，日曜にも『きかんしゃトーマス』を編成し，家族で楽しめる良質のアニメ番組を提供した。

**（３）趣味・実用番組の充実，視聴者の要望に応えるサービスの強化**

『きょうの料理』『きょうの健康』など，おなじみの番組のテーマや演出をブラッシュアップしたほか，インターネットとの連携をさらに深め，視聴者の興味や関心に速やかに対応した。また，女性に人気のある『グレーテルのかまど』の新シリーズや，花と緑のある生活を楽しむ『趣味の園芸グリーンスタイル』を新設したほか，小・中学生の子どもを持つ親たちが教育に関する悩みを話し合える『ウワサの保護者会』を，より見やすい時間帯に移設した。

**（４）繰り返し見ても高い満足度が得られる質の高い教養系番組の充実**

平日午後10・11時台は，現役世代に向けた教養系の番組を充実させた。俳優モーガン・フリーマンの案内で，未知の世界を探求するファミリー向けドキュメンタリー『モーガン・フリーマン　時空を超えて』を新設したほか，『ミュージック・ポートレイト』をより落ち着いて見られる時間帯に移設した。また，民家や倉庫など古い建物を改装したカフェを舞台に，実際にあった地域の歴史に基づくドラマを，その町に住む人たちが演じる『ふるカフェ系　ハルさんの休日』を新設した。

**（５）東京オリンピック・パラリンピックに向けたEテレらしいアプローチの番組を編成**

語学，食，文化，福祉など，Eテレならではの専門性で，「2020年東京」に向けた国際交流やボランティアなどの活動に役立つ情報を提供した。定時番組の中で企画を展開したほか，リオデジャネイロ・パラリンピックが終了した９月には，新番組『2020TOKYO みんなの応援計画』をスタートさせた。

## ３．BS1

**（１）リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック，そして，2020年の東京オリンピック・パラリンピックにつながる番組を戦略的に展開**

「リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック」を盛り上げる番組ゾーンを日曜午後９時台に新設し，『超人たちのパラリンピック』『世界はRioをめざす』など多彩な番組を展開した。また，「2020年東京」に向けて，アマチュアスポーツの新たな魅力や次世代アスリートの発掘を進めるとともに，中継競技の拡充にも取り組んだ。

**（２）新技術を活用したスポーツ中継など“新時代のスポーツ体験”の実現**

2020年に向けて開発が進む最新技術を駆使したスポーツ中継や，新番組『スポーツ　データ・コロシアム』を展開し，視聴者に“新しいスポーツの視聴体験”を提供した。マルチ編成や副音声も活用して，スポーツをより深く，より魅力的に伝えた。

**（３）スポーツを通して幅広いメッセージを伝える，多彩な番組を編成**

土曜午後５時台から６時台は，15年度に新設した“Doスポーツゾーン”の一層の定着を図った。登山，自転車，マラソンをテーマに身体を動かす楽しさを伝える番組や，スポーツのコーチングにとどまらず，子育てやビジネスシーンにも活用できる示唆に富んだ言葉が満載の『奇跡のレッスン～最強コーチと子どもたち～』など，スポーツを通じて幅広いメッセージを発信する番組を編成した。

**（４）国際・経済情報のさらなる充実と，グローバルな視点で世界の課題と向き合う大型番組の開発**

日曜夜間に，激動する世界の現場を記録するルポルタージュ番組『激動の世界をゆく』を新設し，BS1ならではの大型ドキュメンタリーとしてスタートさせた。朝の国際ニュース情報番組は，タイトルを変更し，さらなる内容の充実・強化に努めた。週末の経済情報番組『経済フロントライン』は，一週間の経済動向をまとめて振り返るとともに，国内外の最新の経済情報を深く掘り下げた。

**（５）タイムリーで質の高いドキュメンタリー番組を制作，国際共同制作も積極的に推進**

海外ドキュメンタリーの秀作シリーズ『BS世界のドキュメンタリー』や，関心の高いテーマをタイムリーに取材する『ドキュメンタリーWAVE』，日曜午後７・８時台にはスケールの大きなテーマを幅広く取り上げる『BS1スペシャル』などを積極的に編成し，本格ドキュメンタリーに対する視聴者の期待に応えた。

## ４．BSプレミアム

**（１）BSプレミアムのフラッグシップとして，大型エンターテインメントや，長期取材に基づくこれまでにないスケールの番組など，多彩な視聴者の関心を呼ぶ番組を編成**

土曜夜間に，超大型特集枠『スーパープレミアム』を新設し，大物出演者による大型ライブ・エンターテインメント番組，新鮮なキャスティングと斬新な演出で挑む話題性に富むドラマ，最先端の技術を駆使して歴史のミステリーに迫る番組，かつてない規模の大型生中継番組など，多くの視聴者が高い関心を寄せるコンテンツを年10本放送した。

大型企画『ザ・プレミアム』では，スケール感あふれる大型自然番組，視聴者に好評をいただいた企画の新シリーズ，新たなスタイルの世界紀行番組や大作映画など，話題性の高いコンテンツを通年で展開した。

**（２）他にはない個性と魅力を持つ，新ジャンル・新フォーマットの番組を開発**

平日夜間は，他にはない個性と魅力を持った，多彩な番組を編成した。

水曜午後９時台は，新たな証言や映像や資料を発掘し，誰もが知る事件の知られざる物語に迫る『アナザーストーリーズ　運命の分岐点』の第２シリーズを編成した。木曜午後９時台は，知的エンターテインメント番組をはじめとした，個性的でインパクトのある多彩な番組を編成する『木曜インパクト』枠を継続し，視聴者層の拡大を目指した。水曜午後10時台は，有名な観光地を個性的かつちょっとディープに楽しむための情報満載でお届けする『２度目の○○』と，世界各国の道を歩き，人々の営みや自然の絶景，歴史の集積を見つめる『一本の道』を新設した。平日午後11時台の「リラックスゾーン」は一層の定着を目指し，ベランダで繰り広げられる植物と人間の悲喜こもごもをドラマタッチで描く『植物男子ベランダー』の第３弾，酒の肴（さかな）に特化した知的エンターテインメント番組『あてなよる』など，個性的で肩の凝らない番組を編成した。

**（３）「日本再発見」をコンセプトとした，地域の魅力や価値を発信し，地域を応援する番組の強化**

月～金曜午後７時台は，全国各地の魅力を発信し地域を応援する番組を充実させた。また，地域を舞台にしたドラマを年８本制作した。

### ５．ラジオ第１放送

**（１）平日夜のニュース番組の刷新**

リスナーとの双方向性を向上させ，より身近で本格的なニュース番組を目指し，平日午後10時台の『NHKジャーナル』を刷新した。番組公式ツイッターなどリアルタイムで寄せられる意見や感想を番組内で紹介し，番組に生かしていく演出に取り組んだ。

**（２）平日午後に情報性を高めた番組を配置**

平日午後の４時間ワイド番組を，さらに情報性を高めた新番組『ごごラジ！』に刷新した。個性的で魅力あふれるパーソナリティーを曜日ごとに迎え，多彩で楽しく，役に立つ番組を届けた。

**（３）平日夜間帯に幅広い世代に支持される番組を新設**

平日夜間に若い年代のリスナーに人気のあるパーソナリティーを据えた娯楽番組『A.B.C－Z今夜はJ's倶楽部』を新設し，より幅広い世代に楽しんでいただけるバラエティー豊かな時間帯とした。

**（４）平日夕方に“地域応援ゾーン”の新設**

平日午後５～６時台を，各地域の放送局による地域の安全・安心に資する生活情報番組ゾーンとし，地域に密着した情報発信を積極的に行い，より身近で頼れる放送局として存在感を高めた。

### ６．ラジオ第２放送

**（１）多様な“学び”に応える番組を編成**

高校生向けに，働くイメージを実感してもらう新しい学校教育番組『NHK高校講座　仕事の現場ｒｅａｌ』を新設した。

### ７．FM放送

**（１）夜11時台をより個性的で多彩な番組ゾーンとして強化**

個性的で多彩なパーソナリティーの番組が日替わりで並ぶ平日午後11時台に，笑いと音楽をミックスした新感覚の番組『音楽ガハハ』を新設し，より魅力あふれる時間帯とした。

**（２）平日夕方に10代～20代の若年層に向けた新番組を配置**

平日午後５時台の学校が終わる時間帯に，高校生・大学生向けの『ゆうがたパラダイス』を新設した。インターネットも活用し，リスナーが参加できるコーナーを設けるなど，多彩な演出で10～20代の若者を引き付けた。

## Ⅱ．年度途中の新設番組など

### １．総合テレビジョン

**（１）新設番組**

後半期の改定では，水曜夜間に『発掘！お宝ガレリア』（10.19～），『超入門！落語 THE MOVIE』（10.19～）を新設したほか，土曜夜間にアニメ『３月のライオン』（10.8～）を新設した。

**（２）ドラマの新シリーズ**

『連続テレビ小説』は「べっぴんさん」（10.3～），『大河ドラマ』では「おんな城主 直虎」（1.8～）を開始した。金曜午後10時の『ドラマ10』は，「運命に、似た恋」（9.23～），「コピーフェイス～消された私～」（11.18～）などを放送した。土曜には，『土曜時代劇』で「忠臣蔵の恋～四十八人目の忠臣」（9.24～）を，『土曜ドラマ』で「夏目漱石の妻」（9.24～）と「スニッファー嗅覚捜査官」（10.22～）を放送した。

### ２．教育テレビジョン（Eテレ）

後半期の改定では，ティーンズ向け番組として，海外ドラマ『100　オトナになったらできないこと』（12.7～）を放送したほか，学校放送番組の新シリーズとして，『しまった！～情報活用スキルアップ～』（10.13～）や『10min. ボックス・生活・公共』（10.13～）を放送した。また，語学番組の新シリーズとして『旅するドイツ語』（10.3～），『旅するイタリア語』（10.4～），『旅するフランス語』（10.5～），『旅するスペイン語』（10.5～）を，教養番組として『ねほりんぱほりん』（10.5～）を放送した。アニメでは『クラシカロイド』（10.8～）を放送した。

### ３．BS1

野球などのシーズン終了や欧米の冬時間等に伴い，11月７日以降，一部改定を実施した。

男子プロバスケットボールの２つのリーグが統合して誕生した新しいリーグ「B. LEAGUE」の2016～2017シーズンの公式戦を，金曜夜間を中心に随時生中継した。

午後11時台の『ワールドスポーツMLB』は，MLBのシーズン終了に伴い，内容と放送時間を一部見直して，欧州サッカーを中心にウインタースポーツなどの最新情報を伝えた。

午後11時台には，『BS世界のドキュメンタリー』の放送時間を繰り上げたほか，金曜にはアス

リートとスポーツマンガの関係を描く『ぼくらはマンガで強くなった』（11.11～）を，土曜にはプロ野球を毎回ひとつのテーマで掘り下げる『球辞苑』（11.12～）を，日曜には世界トップレベルの指導者が子どもたちと向き合うドキュメンタリー番組『奇跡のレッスン』（11.20～）を放送した。

日曜午後９時台は「オリンピック・パラリンピックゾーン」として,「2020年Tokyo」を目指す人々の姿を描いた『世界はTokyoをめざす』(10.10～）や，自国開催を盛り上げるため奮闘する人たちを紹介する『東京オリパラ団』(11.6～）を放送した。

土曜午後５時台は，東京五輪で追加種目となるスポーツクライミングの番組『Let's！クライミング』（11.12～）を放送した。

欧米の夏時間の終了に伴い，日曜の午前５～８時台の編成を一部変更し，『ワールドニュース』は午前８時からの放送に変更し，『PGAゴルフツアー』は午前６～７時台に変更，『チャリダー★快汗！サイクルクリニック』『ラン×スマ～街の風になれ～』を午前５時台に再放送した。

### ４．BSプレミアム

後半期の改定では，木曜夜間に『ザ・プロファイラー～夢と野望の人生～』（10.6～），『世界入りにくい居酒屋』（10.13～）を半年ぶりに定時番組としたほか，海外ドラマの新シリーズ『クイーン・メアリー　愛と欲望の王宮』（9.28～）を放送した。

金曜夜間には，知的エンターテインメント番組や新たなスタイルの個性的でインパクトのある多彩な番組を編成する『金曜インパクト』を新設したほか,『アニメ　新世紀エヴァンゲリオン』(9.16～）を放送した。

日曜午後９時台には,韓国ドラマ『三銃士』(9.4～），海外ドラマ『刑事フォイル』（1.8～）の新シーズンを放送した。

火曜午後６時台には，『アニメ　新くまのプーさん』（10.11～）を放送した。

午前７時台には，『ニッポンの里山　ふるさとの絶景に出会う旅』『もういちど，日本』アニメ『ぼくらベアーベアーズ』と『アドベンチャータイム』を放送した。

### ５．スーパーハイビジョン試験放送

８月１日から放送を開始したスーパーハイビジョン試験放送では，８K･４K放送の技術検証と普及に資するために，超高精細映像や三次元音響など，スーパーハイビジョンの最先端の技術を生かした番組を制作し，午前10時から午後５時までの間を基本として編成した。

紀行，音楽・エンターテインメント，自然・科学，ドラマ，美術・文化など，ジャンル別に放送時間帯を設けて，月曜から日曜まで同一番組を繰り返して放送した。通常は８K放送とし，一部４K番組のマルチ編成も実施した。オリンピックリオデジャネイロ大会では，開・閉会式，競泳，陸上を８Kで生中継した。

12月１日からは，一般社団法人放送サービス高度化推進協会（A-PAB）が１日１時間の放送を開始した。

### ６．ラジオ第１放送

プロ野球ナイトゲームの終了に伴い，木・金曜の午後８～９時台の編成を改定した。木曜は『かれんスタイル』を，金曜は音楽番組『ぼくらの青春Ｊ－POP　平成ミュージック･グラフィティー』を放送した。

### ７．ラジオ第２放送

『NHK高校講座』について，前期の夜間に放送した「コミュニケーション英語Ⅲ」「保健体育」「仕事の現場ｒｅａｌ」を深夜枠で再放送した。

## 国内放送番組審議会

放送番組審議会は，放送事業者に対して放送法で設置が義務付けられている法定の審議機関である。NHKは国内放送に関わる「中央放送番組審議会」と８つの「地方放送番組審議会」，国際放送に関わる「国際放送番組審議会」を設置している。

番組審議会は，放送番組の適正を図るための自律措置として設けられているものであることから，委員の人選にあたっては学識経験者などの中から，社会動向や属性など全体の調和を考え，視聴者の意向が的確に反映されるよう，幅広い観点から委嘱を行っている。委員数は，17年３月現在で中央審議会は16人，地方審議会は10～12人で組織している。会議は，毎月１回の定例開催日に議題を設けて実施している（８月は休会）。会長の諮問に応じて全国向けの「国内放送番組編集の基本計画」と各地域向けの「地域放送番組編集計画」について審議し，答申したほか，番組全般について意見交換を行った。

## １．中央放送番組審議会

中央放送番組審議会は，16年度中に11回開催し，会長の諮問により，12月に「平成29年度国内放送番組編集の基本計画」について審議し，答申したほか，広く国内放送番組全般について活発な意見交換を行い，放送番組への反映を図った。

また，５月に15年度下半期，11月に16年度上半期の国内放送番組の種別の実績および種別ごとの放送時間について報告した。

16年度中の主な議題は次のとおり。

４月　経営計画における「達成状況の評価・管理」（15年度第４四半期・１～３月），『グッと！スポーツ』「嵐・相葉が初MC！卓球女王のスゴ技を体感！」について

５月　放送番組の種別および種別ごとの放送時間（15年10月～16年３月分），『探検バクモン』「迎賓館　赤坂離宮」について

６月　平成28年度国内放送番組編成計画（スーパーハイビジョン試験放送），『クローズアップ現代＋』「“奨学金破産”の衝撃　若者が…家族が…」について

７月　経営計画における「達成状況の評価・管理」（16年度第１四半期・４～６月），『一本の道』「“黒い聖母”の巡礼路をゆく～フランス・ミディピレネー～」について

９月　16年度後半期の国内放送番組の編成，17年度の番組改定，『昔話法廷』「“アリとキリギリス”裁判」「“浦島太郎”裁判」について

10月　経営計画における「達成状況の評価・管理」（16年度第２四半期・７～９月），「スーパーハイビジョン実用放送」，『週刊　ニュース深読み』「モーレツ社員はいらない！？　“働き方改革”始動」について

11月　放送番組の種別および種別ごとの放送時間（16年４～９月分），「平成29年度国内放送番組編集の基本計画（案）」について

12月　「平成29年度国内放送番組編集の基本計画（案）－諮問－」，『スポーツデータ・コロシアム』「陸上400mリレー＆サッカー川崎・中村憲剛」について

１月　経営計画における「達成状況の評価・管理」（16年度第３四半期・10～12月），『覆面リサーチ　ボス潜入』「コンビニチェーン」について

２月　「STAP細胞報道に対する申立て」に関するBPO勧告，「平成29年度国内放送番組編成計画」「インターネットサービス実施計画」について

３月　『これでわかった！世界のいま』「偽ニュースが拡散中！なぜ世界はだまされる」について

番組審議会の活動内容の公開については，各番組審議会の議事録を毎月，放送やインターネットなどで公表している。

## ２．地方放送番組審議会

全国８つの地域ごとに「地方放送番組審議会」が設けられ，各地域の放送番組の基本方針を審議している。

16年度中に各地域とも11回開催し，会長の諮問に応じて「平成29年度各地方向け地域放送番組編集計画」について審議し，答申したほか，番組全般について意見交換し，その適正化を図った。